

第2学年 中学校社会科歴史的分野 学習指導案

1. 単元名（題材名）

近代日本の歩みと国際社会
新しい価値観のもとで

2. 単元目標

◇ 《情意面》

近代の成立とその後の政治、社会、文化の動きに対する関心を高め、意欲的に追究して近代の特色をとらえようとする。

◇ 《知識・理解、技能面》

近代の成立とその後の政治、社会、文化の動きについての課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、公正に判断する。その際、考察するための資料を収集し適切に選択して活用するとともに、追究し考察した結果をまとめたり説明したりする。これらの活動を通して、知識を確実に身に付ける。

3. 単元設定の意図

○ 《教材観》

近世から近代へと時代が大きく変わる時であり、歴史の流れを大きく捉えさせる場面として適した単元である。細かい知識には深入りせず、因果関係に着目する問いを設定し、思考力・判断力・表現力を身に付けさせたい。

○ 《指導観》

そこで、指導に当たっては次のような工夫をする。

ジグソー学習を取り入れる。ジグソー学習とは、まず、グループごとに単元の鍵となる知識を一つ学習させ、その内容を他人に説明するための準備をする活動を行う。その後、それぞれ異なる知識を学んだ生徒が新しいグループをつくり、それぞれが学習した内容を教え合う学習法である。この学習では、知識を獲得する最初の段階において、生徒が考えたいような問いを設定すれば、生徒が意欲を持ち、自分で問いに答えるために調べ学習を行うであろう。この活動を通して、資料から必要な情報を取り出しまとめる力なども養える。さらに、新しいグループでその知識が分かる人は自分一人なので責任を持って取り組み、他人を説得するために必要な表現力が養える。また、協同することの大切さも学ぶことができる。これらの活動を通して、生徒に忘れることのできない知識として定着させたい。

また、歴史は現在に生かしてこそ意味がある。この授業では、明治の政治を考える際に、現在の政治を参考にして考えさせたい。過去と現在を結びつけ、人間の営みの普遍的な部分を理解させる。

4. 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
題材・単元の 評価規準	・明治維新による近代国家の形成など、近代の歴史事象に対する関心を高め、意欲的に追究して近代の特色をとらえようとする。	・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化や新政府による改革の特色について多面的・多角的に	・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切	・明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解し、その知識を身に付けている。

		考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
学習活動における 具体の評価規準	① 明治維新による近代国家の形成など、近代の歴史事象に対する関心を高め、課題を意欲的に追究している。 ② 調べた内容について、意欲的に意見交換し、発表している。	① 課題を多面的・多角的に考察している。 ② 考察した結果を適切に表現している	① 様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取っている。 ② わかりやすい発表資料を作成し、説明している。	① この活動を通して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・ 実際の発表 ・ 学習の過程を通しての自己評価			

5. 学習計画（指導と評価の計画）

	学習内容・学習活動	評価規準				評価方法
		関	思	技	知	
1	・ 新政府の中央集権的な国家建設をめざした具体的な取り組みについて理解する。	①		①	①	
2	・ 前時の学習を受け、「四民平等はすべての人が喜んだか」を考える。（ジグソー学習を取り入れる）	① ②	① ②	① ②	① ②	・ 学習の過程を通しての自己評価
3	・ 二つの資料をもとに、自分たちの考えが正しいかどうか検証する。 ・ 新しく自分たちに生まれた問いに対して考える。	① ②	① ②	① ②	① ②	・ 実際の発表
4	・ まとめ（概念を獲得する） ・ 補足（説明が足りないところを補う）		①		①	

6 本時案

(1) 主眼・ねらい

近世から近代に変わる時代の大きな流れを捉え、諸改革によって市民の生活が大きく変化したことを理解し、知識として定着させることを主眼とする。
主眼を達成するため、ジグソー学習を一部に取り入れる。

(2) 準備

(3) 学習過程

学習内容・学習活動	予想される児童・生徒の反応	教師の支援
<p>導入</p> <p style="text-align: center;">MQ 四民平等はすべての人が喜んだか？</p> <p>Q 明治政府の、具体的な取り組みは何だったか？</p> <p>(1) 前時の学習を資料にしたものを基に、復習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>明治2年(1869)</p> <p>1月23日薩長土肥4藩主、版籍奉還を奏請(以後、諸藩主からの奏請相次ぎ、6.17諸藩の版籍奉還を聴許)</p> <p>6月17日公卿・諸侯の称を廃止し、華族と称する</p> <p>6月25日藩士を士族・卒とし、農・工・商を平民とする(M3.9.19平民に名字の使用を許可)</p> <p>明治4年(1871)</p> <p>4月4日戸籍則を定める(いわゆる「壬申戸籍」M5.2.1実施)</p> <p>7月22日各府県に居留・旅行する者に鑑札を渡す制度廃止(居住移転旅行の自由)</p> <p>8月9日散髪・廢刀の自由を認める</p> <p>8月28日穢多・非人の称を廃止し、身分・職業とも平民と同様とする旨を布告</p> <p>12月18日在官者以外の華族・士族・卒に、農・工・商業を営むことを認める(職業の自由)</p> <p>明治5年(1872)</p> <p>1月29日卒の身分を廃止して士族に合し、皇族・華族・士族・平民とする</p> <p>2月15日土地(田畑)永代売買の禁を解く(M6.7.28地租改正 地価の3%を金納)</p> <p>11月28日徴兵の詔書(同日、徴兵告諭の太政官布告 国民皆兵の制度化)</p> </div>		
<p>展開1</p> <p>Q 四民平等の政策はすべての人が喜んだか？ 明治政府の立場、士族の立場、農民の立場に分かれて考えてみよう？</p> <p>(1) 各自、考えたい立場を決め、同じ立場の者同士でグループになる。</p> <p>(2) それぞれ喜んだか、考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治政府のグループは、「いい」と思う。 ・ 士族のグループは、「嫌だった」と思う。 ・ 農民のグループは、「喜んだ」と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習内容を活用させる。 ○根拠を持って考えさせる。

<p>(3) それぞれのグループの意見を持って、新しいグループで、MQについて考える。</p> <p>(4) グループの考えを発表する。</p>		<p>○根拠を持って発表させる。</p>
<p>展開 2</p> <p>(1) 次の資料を用意し、「これは何をしているのでしょうか」と問いかける。</p> <div data-bbox="183 689 539 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>西南戦争(1877)、伊勢騒動(地租改正反対一揆)(1876)</p> </div> <p>(2) 疑問に思うことを、答える。</p>	<p>・「何かに抵抗している」「明治政府と対立している」「戦っている人がちがう」</p> <p>・自分の予想とちがう。驚き、深く考え始める。</p>	<p>○資料をしっかりと読み取らせる。</p> <p>○以下の問いに集約する。</p>
<p>Q なぜ農民も反対しているのだろうか？</p>		
<p>Q なぜ、農民と士族は、力を合わせないのだろうか？</p>		
<p>(3) 問いについて考える。</p> <p>(4) 資料から、理由を考える。</p>	<p>・資料から読み取る。</p>	<p>○資料の中にヒントがあることを告げる。(答えは同じ変化の中にあり)</p>
<p>展開 3</p>		
<p>Q この後、なぜ政府は、税率を3%から2.5%に下げたのだろうか？</p>		
<p>(1) 問いについて考える。</p>	<p>・現在の政治から考える。</p>	<p>○現在の政治と関連させて、考えさせる。「政府は、体制維持のため、民衆に迎合することがある」という概念を獲得する。</p>
<p>まとめ</p> <div data-bbox="183 1742 1380 1841" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>四民平等は、最初は受け入れられない(変化に対する困惑・恐れ)が、その後定着していく。明治の諸改革は、近代民主国家の基礎をつくった。</p> </div>		